

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

東広島市立松賀中学校
教諭 石本 有士

- 1 学年・学級 第2学年1組（男子19名 女子18名，計37人）
2組（男子19名 女子17名，計36人）
3組（男子19名 女子18名，計37人）

2 題材名 「わたしたちの消費生活」（東京書籍）

3 題材設定の理由

(1) 題材観

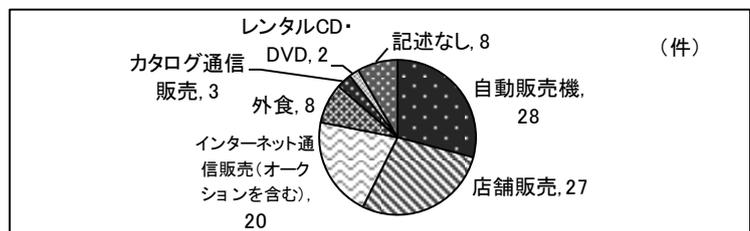
本題材は、中学校学習指導要領技術・家庭（平成20年）家庭分野の内容「D（1）家庭生活と消費」にあたる。ここでは、自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること（D(1)ア）、販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること（D(1)イ）をねらいとしている。なお、消費者の基本的な権利と責任については、中学校技術・家庭科〔家庭分野〕において平成20年の学習指導要領改訂で新たに追加された指導事項であり、小学校家庭科では直接関連する指導事項はない。題材の設定に当たっては、「A 家族・家庭と子どもの成長」「B 食生活と自立」「C 衣生活・住生活と自立」の各項目との関連を図るよう配慮する。

(2) 生徒観

生徒は、小学校家庭科で、物や金銭の使い方と買い物について学習している。中学校入学後、食品や日用品をはじめ授業や部活動に必要な物資を購入する機会が増えているが、契約であるという意識がないまま、塾や習い事などのサービスを利用している場合もある。

題材実施前に行った実態調査（第2学年96人を対象）によると、85人（89%）の家庭にインターネット接続可能なパソコンがあり、41人（42%）が自分専用の携帯電話またはスマートフォンをもっていると回答している。さらに、これらの情報通信機器を使って、インターネットによる通信販売またはオークションを利用した経験がある生徒は57人（59%）であった。また、自分や自分の家族が商品を購入する際に、困ったことやトラブルに巻き込まれた経験を記述させ、記述に含まれる実態を販売形態別に分類したところ、次の図のような結果となった。

このことから、中学生の消費行動の実態を踏まえ、中学生にかかわりの深い事例を教材化して取り上げることが必要であると考えます。



(3) 指導観

消費者の基本的な権利と責任について理解させるために、自分や家族の消費行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えさせるように学習指導を行いたい。具体的には、題材の第2時（全5時間）に消費者の基本的な権利と責任の学習を位置付ける。そして、商品の選択、購入及び活用、消費者トラブルに関する各学習場面において、自分や家族の消費行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えさせるように学習指導を行う。さらに、教科書にある一般的な事例に加えて、実態調査を基に作成した事例と東広島市の中学生の保護者から東広島市消費生活センターに寄せられ

た相談の実例を取り上げることとする。

販売方法の特徴については、電子黒板とDVDを活用し、インターネットやプリペイド型の電子マネーの普及による消費生活の変化及びこれらの利点と問題点を理解させるようにする。また、物資・サービスの適切な選択、購入及び活用、消費者トラブルを解決する方法については、意思決定のプロセスに沿った商品の選択、自分や家族の消費生活にかかわる経験やトラブルの交流、ロールプレイング等の実践的な学習活動を取り入れる。

4 題材の目標

- 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。
- 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。

5 題材の評価規準

ア 生活や技術への関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術についての知識・理解
①自分や家族の消費生活に関心をもっている。 ②消費行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えようとしている。	①収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫しようとしている。	①物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。	①消費者の基本的な権利と責任について理解している。 ②販売方法の特徴について理解している。

6 指導計画および評価方法（全5時間扱い）

時数	学習内容	関	創	技	知	評価規準	評価方法
1	消費生活について考えよう ・自分や家族の消費生活 ・支払い：二者間契約	○				ア①自分や家族の消費生活に関心をもっている。	行動観察
2	消費者としての自覚をもとう ・消費者の基本的な権利と責任	○				ア②消費行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えようとしている。 ◎ エ①消費者の基本的な権利と責任について理解している。	行動観察 定期テスト
3	商品の選択と購入、活用について考えよう ・販売方法の特徴 ・品質表示やマークなどの表示 ・消費者の基本的な権利と責任 ・物資・サービスの選択・購入 ・物資・サービスの活用 ・購入したものの見直し		○			◎ エ②販売方法の特徴について理解している。 イ①収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫しようとしている。 ○ ウ①物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。	定期テスト ワークシート ワークシート
4	消費者トラブルを解決する方法を知ろう ・支払い：二者間契約 ・販売方法の特徴 ・消費者の基本的な権利と責任	○				◎ エ①消費者の基本的な権利と責任について理解している。	行動観察 定期テスト
5						○ エ②販売方法の特徴について理解している。	定期テスト

7 本時の展開（第1時）

本時の目標—自分や家族の消費生活を振り返り，契約について理解する。		
学 習 活 動	指導上の留意事項 ◆支援を要する生徒への手立て	評価規準〔観点〕（評価方法）
1 導入	◇本時の学習課題を提示する。	
今日の目標 ：自分や家族の消費生活を振り返り，契約について理解する。		
2 展開 ○自分や家族の消費生活を振り返る。 ○商品には，物資とサービスがあることを知る。 ○身近な消費行動の中にある契約について考える。	◇自分や家族が商品を購入した際の行動や事業者の対応を想起させる。 ◇ 考 商品名を書いたカードを使って考えさせ，物資とサービスに分類させる。 ◇ 考 身近な消費行動と契約をかわらせて考えさせる。 ◆自分や家族の購買経験を想起させる。 ◇ 教 電子黒板を用いて，契約とは法律によって保護された約束であることや契約に伴う権利と責任について説明する。	ア①自分や家族の消費生活に関心をもっている。 [関心・意欲・態度] (行動観察)
3 まとめ ○加工食品の表示を比較し，商品の選択と購入について考える。 ○本時の学習を振り返り，次時までの課題と準備物，次時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>課題①：商品（シャンプー，靴，ジャンパーを各2グループに割り当てる）に関する情報を収集する。</p> <p>課題②：自分や家族が商品を購入する際に，困ったことやトラブルに巻き込まれたこと，そのときにどういう行動をとったかを書く。</p> </div>	◇「B食生活と自立」の「(2) 日常食の献立と食品の選び方」で扱った加工食品の表示の比較例を提示し，既習事項と商品の選択と購入の学習とを関連付けて考えさせる。 ◇本時の学習を振り返らせ，次時までの課題と準備物，次時の見通しを確認し，学習への意欲をもたせるようにする。	

※「ひろしま」学びのサイクル…**教**：しっかり教える **表**：はっきり表現させる **考**：じっくり考えさせる

7 本時の展開（第2・3時）

本時の目標—①消費者の基本的な権利と責任について理解する。 ②商品の選択と購入，活用について考える。		
学 習 活 動	指導上の留意事項 ◆支援を要する生徒への手立て	評価規準〔観点〕（評価方法）
1 導入	◇本時の学習課題を提示する。	
今日の目標①：消費者の基本的な権利と責任について理解する。		
<p>2 展開</p> <p>○消費者の権利と責任シートを使って，消費者の基本的な権利と責任の意味，消費生活に関する法令等の趣旨を確認する。</p> <p style="text-align: center;">消費者の権利と責任シート</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の8つの権利と5つの責任 ・消費者基本法 ・消費者契約法 ・製造物責任法（PL法） ・特定商取引に関する法律 </div> <p>○販売方法の種類と特徴，それぞれの利点と問題点を知る。</p> <p>○支払い方法の種類と特徴を知る。</p>	<p>◇教電子黒板を用いて，身近な消費行動と対応させながら，消費者の基本的な権利と責任の意味，消費生活に関する法令等の趣旨を説明する。</p> <p style="text-align: right;">事例1</p> <p>◇DVD（『16わたしたちの消費生活と環境』消費者の権利と責任 3' 31" 東京書籍）を視聴させ，補足説明をする。</p> <p>◇教 DVD（NHK エンタープライズ『消費生活とトラブル防止』インターネットの普及による消費生活の変化 5' 30" 教育図書）を視聴させて，通信販売の利点と問題点を説明する。</p> <p>◇教 ICOCA や PASPY を提示し，プリペイド型の電子マネーの利点と，紛失・盗難・個人情報の取扱いなどの留意点を説明する。</p> <p>◇教 DVD（NHK エンタープライズ『消費生活とトラブル防止』クレジットカードの仕組みと問題 5' 20" 教育図書）を視聴させて，目に見えない金銭の動きについて説明する。</p> <p>◇商品の購入の際に，本当に必要か，支払いは可能かを考えることの重要性に気付かせる。</p>	<p>ア②消費行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えようとしている。</p> <p>〔関心・意欲・態度〕 （行動観察）</p> <p>エ①消費者の基本的な権利と責任について理解している。</p> <p>〔知識・理解〕 （定期テスト）</p> <p>エ②販売方法の特徴について理解している。</p> <p>〔知識・理解〕 （定期テスト）</p>

今日の目標②：商品の選択と購入，活用について考える。		
<p>○購入を前提に，商品（シャンプー，靴，ジャンパー）について収集した情報をグループ内で交流し，ワークシートに整理する。</p> <p>○意思決定のプロセス（情報収集，比較検討，判断）に沿って選択のポイントを絞り，購入する商品を決定する。</p> <p>○意思決定のプロセスにおいて，自分が考えたことや商品決定の理由を説明する。</p> <p>○意思決定のプロセスの中で，実現されるべき消費者の権利と果たすべき責任を考える。</p>	<p>◇考第1時の課題①を基に，必要な情報を簡潔にまとめさせる。</p> <p>◆選択のポイント（品質，機能，価格，アフターサービス，環境への影響等）を示し，どの条件に重点を置いて選択するかを考えさせる。</p> <p>◇表話型を示し，電子黒板に生徒のワークシートを投影して説明させる。</p> <p>◇考消費行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えさせ，発表させる。</p>	<p>ウ①物資・サービスの選択，購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。</p> <p>[技能] (ワークシート)</p> <p>イ①収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択，購入及び活用について考え，工夫しようとしている。</p> <p>[工夫・創造] (ワークシート)</p>
<p>3 まとめ</p> <p>○本時の学習を振り返り，次時の学習内容を確認する。</p>	<p>◇本時の学習を振り返らせ，次時の見通しを確認し，学習への意欲をもたせるようにする。</p>	

※「ひろしま」学びのサイクル…**教**：しっかり教える **表**：はっきり表現させる **考**：じっくり考えさせる

7 本時の展開（第4・5時）

本時の目標—身近な消費者トラブルの事例とその解決方法を知る。		
学 習 活 動	指導上の留意事項 ◆支援を要する生徒への手立て	評価規準〔観点〕（評価方法）
1 導入	◇本時の学習課題を提示する。	
今日目標：身近な消費者トラブルの事例とその解決方法を知る。		
2 展開 ○自分や家族の消費生活にかかわる経験やトラブルを交流する。 ○悪質な商法の例についてロールプレイングを行い、問題点や解決の方法を考える。 ○二つの事例の中で、実現されていない消費者の権利と果たされていない責任を考える。 ○悪質な商法の例を知る。 ○消費者トラブルの解決方法を知る。	◇表第1時の課題②を基に、経験やトラブルを発表させる。プライバシーに配慮する。 事例2, 3, 4 ◆自分や家族の購買経験を想起させる。 東広島市の中学生の実例 ◇考問題点について生徒とは反対の意見を示すことにより、活発な意見を引き出す。 ◇登場人物の発言や行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えさせ、発表させる。 ◇教DVD（『若者は狙われている』ケース1「キャッチセールス」8'00" 日本消費者協会）を視聴させる。電子黒板を用いて、悪質な商法の例（アポイントメントセールス、デート商法、マルチ商法、催眠商法、架空請求）について説明する。 ◇教電子黒板を用いて、クーリング・オフ制度の説明をする。通信販売には適用されないことを確認する。 ◆通信販売の広告に記載されている返品可否や条件の欄を提示し、商品に比べて表示が小さいことに気付かせる。 ◇考3つの事例について、具体的な消費行動とクーリング・オフ制度とを対応させながら考えさせる。	ア②消費行動と消費者の基本的な権利と責任とを対応させて考えようとしている。 [関心・意欲・態度] (行動観察) エ②販売方法の特徴について理解している。 [知識・理解] (定期テスト) エ①消費者の基本的な権利と責任について理解している。 [知識・理解] (定期テスト)

<p>3 まとめ</p> <p>○本題材の学習を振り返る。</p>	<p>◇本題材の学習を振り返らせ、学習のまとめをする。</p>	
--	---------------------------------	--

※「ひろしま」学びのサイクル…**教**：しっかり教える **表**：はっきり表現させる **考**：じっくり考えさせる

実態調査を基に作成した事例

事例 1



事例 2

- ① 弟が自動販売機のお茶のボタンを押したら、コーラが出てきた。
(×選択する権利)
- ② そのままほったらかしにした。
(×補償を受ける権利)
(×主張し行動する責任)

事例 3

- ① スーパーでジュースを買った。飲んだ後に音がしたので中をあけて確認すると、そのジュースのカップの破片が入っていた。
(×安全を求める権利)
- ② 親に言うと、親は、ほかのジュースにも破片が入っていないか一応確認してくれるよう店員さんに伝え、
(○主張し行動する責任)
(○社会的弱者への配慮をする責任)
代金を返してもらった。
(○補償を受ける権利)

事例 4

- ① インターネットの通信販売で27cmのくつを注文した。しかし、数日後、同じメーカーの片方27cmで、もう片方26cmのくつが届いた。
(×選択する権利)
- ② 通信販売の事業者に電話をかけ、27cmのくつを送ってくれるよう伝えた。片方違うサイズのくつを送料着払いで送り返した。(○補償を受ける権利)
(○主張し行動する責任)

東広島市の中学生の実例

無料インターネットゲームを始めたが、やがて有料のアイテム等が欲しくなり親に頼んだ。親は少しだけならと思い、クレジットカード番号を教えた。クレジットカード番号はゲーム内に登録され、以後は番号を入力しなくてもアイテムを購入できるようになった。約2ヶ月が経ち、数十万円の請求があった。